

# グローバル・スタディーズを促進するための科研費申請助成制度 募集要項

2020年9月8日

グローバル・スタディーズ・イニシアティブ事務局

## 1. 目的・趣旨

本制度の目的は、東京大学大学院総合文化研究科におけるグローバル・スタディーズ関連の研究の促進である。本制度はこの目的に基づき、2021年度科研費特別推進研究、基盤研究 S、基盤研究 A、学術変革領域研究のいずれかに2020年秋以降に申請し、2021年4月以降の科研費採否の通知にて不採択となった研究代表者に対し、2022年度の科研費申請（2021年秋以降に応募）に向けての助走資金を支援し、応募課題の発展もしくは新たな研究課題の策定を促進するものである。

## 2. 対象

本制度は、次の(1)～(3)の条件を全て満たす科研費申請を対象とする。

- (1) 東京大学大学院総合文化研究科に所属する教授、准教授、専任講師、特任教授、特任准教授、特任講師を研究代表者としたものであること。
- (2) 2021年度科研費特別推進研究、基盤研究 S、基盤研究 A、学術変革領域研究へ申請（2020年秋以降応募）、2021年4月以降の科研費採否の通知にて不採択となったこと。
- (3) 同一の代表者が2022年度科研費特別推進研究、基盤研究 S、基盤研究 A、学術変革領域研究へ再び申請（2021年度に応募）する予定であること。

## 3. 支援内容・金額

本制度では、特別推進研究、基盤研究 S、学術変革領域研究への申請課題については100万円、基盤研究 A への申請課題については50万円を研究費として研究代表者に交付することを基本とする。ただし、申請件数、予算、採択・審査結果により、100万円の範囲内で増減する場合がある。研究費としての用途は、適正なものである限り自由とする。

交付件数：最大4件（上限総額200万円）を予定

研究期間：2021年4月以降～2022年3月31日

（ただし特別推進研究、基盤研究 S および学術変革領域研究の場合、科研費審査結果の開示時期を考慮し、2022年度も使用できるよう措置をとる可能性もある。）

## 4. 本制度への申請方法、必要書類、採否通知方法、助成金の交付時期

- (1) 2021年度科研費申請（2020年10月）後に、本制度への申請を行う。締切は2020年11月末日とする。ただし、学術変革領域研究については2021年度に応募スケジュールが未定のため、科研費申請期日の翌月末を締切とする。

- (2) 本制度への申請は、①科研費研究計画調書\*1、および②以下 a)~g)の事項を記した同意書\*2 のスキャンデータ (PDF ファイル) を、グローバル・スタディーズ・イニシアティブ (GSI) 事務局 (contact@gsi.c.u-tokyo.ac.jp) へメール提出するものとする。なお、申請書の受領後、GSI 事務局から確認メールを送信予定。申請書提出後、数日経っても事務局から連絡がない場合は、事務局まで問い合わせ確認のこと。

\*1 科研費研究計画書は GSI 事務局の責任において厳重に保管し、(3)に記す選考資料としての取扱いにおいても守秘義務を遵守する。

\*2 同意書の様式は別途添付する。

- a) 下記「5. 申請要件」を承諾すること。
- b) 上記 a)に関して、簡潔な研究計画書を提出すること。
- c) 本制度による助成金受取者は、2021 年度に、2022 年度科研費特別推進研究、基盤研究 S、基盤研究 A あるいは学術変革領域研究へ再申請すること。再申請しない場合は、GSI 事務局の要請に基づいて当該助成金を返還すること。
- d) 上記 c)の際、再度研究計画書を提出すること。
- e) 本制度への申請後 2021 年度科研費または 2022 年度科研費に採択された場合、各種文書やホームページにおいて GSI の外部資金獲得および財源多様化の実績として挙示する旨を承諾すること。
- f) グローバル地域研究機構各センターのメンバー以外の研究代表者は、「グローバル地域研究機構フェロー」に就任すること。
- g) 採択された科研費申請課題の遂行において、研究計画書の記載事項を大幅に変更する必要がある場合、あるいは記載事項の継続が困難となった場合、速やかに GSI 事務局と協議すること。

- (3) 本制度への申請に対する採否は、2021 年 4 月末日 (学術変革領域研究の場合は審査結果開示の 1 ヶ月後) までに申請者にメールにて通知する。

※申請者は、科研費採否の通知および審査結果の開示がなされ次第、速やかに GSI 事務局に申告のこと。

※予算総額を超える申請があった場合には、GSI 事務局にて以下の基準に照らして選考を行う。

- ① 「5. 申請要件」を踏まえた GSI 事業への貢献度
- ② 開示された科研費審査結果

- (4) 助成金は、2021 年 9 月に申請者所属専攻予算への移算にて交付予定。

※上記以前に必要な場合は、別途 GSI 事務局に相談のこと。

## 5. 申請要件

科研費申請が採択された場合、その研究課題の遂行において、下記の(1)、(2)のいずれかを行うこと。

- (1) グローバル地域研究機構 (IAGS) または IAGS 傘下の研究センターと連携して研究を遂行する<sup>\*3</sup>。
- (2) GSI キャラバン<sup>\*4</sup>を代表者または分担者として実施<sup>\*5</sup>する。

<sup>\*3</sup> IAGS 傘下の各センターの概要については GSI のホームページなどを参照のこと。  
IAGS や各センターとの連携の具体例としては、IAGS やセンターと共同で科研費研究計画を作成する、IAGS やセンターが推進する研究プロジェクトに貢献する形で科研費研究計画を位置づける、IAGS やセンターと緊密に連携しながら科研費の研究を推進するために必要な人材を雇用する、などが考えられる。

<sup>\*4</sup> GSI キャラバンの概要については、GSI のホームページを参照のこと。

<sup>\*5</sup> 既に開始しているキャラバン・プロジェクトの代表者または分担者も、この要件において本助成制度に応募可能。

---

### 【問い合わせ先】

グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ事務局  
駒場キャンパス 14 号館 2 階 205 号室  
連絡先：contact@gsi.c.u-tokyo.ac.jp  
HP：https://www.gsi.c.u-tokyo.ac.jp/

# 科研費申請助成フローチャート

